学校番号	1015

令和２年度　福祉科

教科	福祉	科目	介護福祉基礎	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	7 実教　福祉 304　「介護福祉基礎」　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生活に生かすことのできる介護知識と技術を身につけよう。
　施設実習を通じて、地域との連携をはかる。
　福祉制度や福祉に関する問題を学習し、課題を考察する。

2　学習の到達目標

高齢者の自立した生活の支援のために必要なこころとからだの基礎的な知識を習得し、介護実践に活用できる能力を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	介護に関する問題について興味をもち、安楽な介護を目指して取り組み、実践的な態度を身につけている。	介護に関する問題の解決を目指してたさまざまな角度から考察している。	高齢者や障がい者に対する基本的な介護技術を身につけている。	高齢者や障がい者に対して、基本的な知識を身に付け、自らの役割を理解し、実践している。
評価方法	学習状況の観察。ノートやプリントの記述。	ノートやワークシートの記述。 定期考査等。	ビデオ視聴などで、事例検討しレポートの作成。 定期考査等。	学習状況の観察、ノート、プリントの記入、発表、定期考査等。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期　中間(4・5・6月)	障害者の生活と支援	・障がいとは ・視覚障がい、聴覚、言語障がい者の生活と支援 ・肢体不自由者の生活と支援 ・内部障がい者の生活と支援	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a障がいの特徴、障がい者の生活上の課題について関心を持ち、支援のあり方について意欲的に考える。 b障がい者の特徴や生活上の課題を踏まえた援助ができる。 c 障がい者の日常生活援助方法、基本的な知識、技術を身に付けている。 d障がい者の日常生活の援助方法について理解している。	1．中間、期末考査の成績、プリント、レポートなどの提出物の有無、や学習活動への参加態度などで評価。
前期　期末(6・8・9月)	障害者の生活と支援	・知的障がい者の生活と支援 ・発達障がい者の生活と支援 ・精神保健福祉 ・精神障がい者の生活と支援	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a障がいの特徴、障がい者の生活上の課題について関心を持ち、支援のあり方について意欲的に考える。 b障がい者の特徴や生活上の課題を踏まえた援助ができる。 c 障がい者の日常生活援助方法、基本的な知識、技術を身に付けている。 d障がい者の日常生活の援助方法について理解している。	2．中間と期末の成績、プリント、レポート提出の有無、学習活動の参加、支援学校との学習交流への参加学習などで評価。
後期　(10・11月)	介護の意義と役割	・尊厳を支える介護 ・介護を必要とする人の理解と介護	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a高齢者の生活上の課題について関心を持ち、支援のあり方について意欲的に考える。 b高齢者の特徴や生活上の課題を踏まえた援助ができる。 c高齢者の日常生活援助方法、基本的な知識、技術を身に付けている。 d高齢者の日常生活の援助方法について理解している。	1．中間、期末考査の成績、プリント、レポートなどの提出物の有無、施設実習、校内実習、学習活動への参加態度などで評価。

後期　期末（12・1月）	介護を必要とする人の生活環境	・介護と環境 ・自立に向けた介護	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a 高齢者の特徴、障がい者の生活上の課題について関心を持ち、支援のあり方について意欲的に考える。 b 高齢者の特徴や生活上の課題を踏まえた援助ができる。 c 高齢者の日常生活援助方法、基本的な知識、技術を身に付けている。 d 高齢者の日常生活の援助方法について理解している。	2．中間と期末の成績、プリント、レポートの提出物の有無 1、校内実習、学習活動の参加で評価。

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。